

▼活動の目的

一級河川小山田川水系と、国土交通省によって遊水池として整備されている蕪栗沼の周辺地域の小中学校に川や沼の環境教育を定着させることを目的とします。教職員向けパンフレットを制作し、渡り鳥の観察や水生生物の観察など授業のメニューを提示します。生き物展示会を通じ教職員と子供に川の自然や環境に対する興味をもたせます。

▼活動の内容

蕪栗沼を活用した環境教育を紹介するパンフレットを制作し、地域の小中学校の教師に配布しました。川や沼の生き物（魚や水生昆虫、プランクトン）を学校の理科室に展示して観察や講義を行う出前講座を、近隣の小学校で実施しました。教職員と子供に川の自然に対する興味を持たせ、沼に飛来する渡り鳥の学習授業や、水辺の生きもの観察授業などを実施することができました。

▼活動の効果

学校で、総合学習や理科の授業の中で、環境教育を取り組むきっかけでき、また生き物出前講座が発展し、実際にフィールドに出て、水辺の生きもの観察授業や、渡り鳥の学習授業を行うことができました。また地域の人々は、子供たちの学習をニュースや新聞で見たり、子供たちの話を聞くことで、川や沼に興味を持ち、守っていききたいと思うようになりました。

▼苦勞した点・反省点

学校によっては、説明が不十分だったこともあり、授業の趣旨に賛同してくれなかったり、出前授業がイベントで終わってしまい、その後の授業に生かされなかったりしました。パンフレットと同時並行でホームページを開設したことは、苦勞は大きかったものの効果も大きく、授業に積極的に利用してもらえました。



【水辺の生きもの観察】

